

# 目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1. 県政全般に関する意識調査	17
(1) 暮らしの安全・安心に関する現在の状況の満足度	17
(2) 医療・福祉・健康づくりに関する現在の状況の満足度	21
(3) 国際交流、文化・スポーツ振興に関する現在の状況の満足度	25
(4) 環境問題に関する現在の状況の満足度	28
(5) 子育てや教育に関する現在の状況の満足度	31
(6) 千葉県の魅力の増進に関する現在の状況の満足度	35
(7) 商工業や農林水産業の活性化に関する現在の状況の満足度	38
(8) 県の基盤づくりに関する現在の状況の満足度	42
(9) 計画の推進にあたっての取組に関する現在の状況の満足度	45
2. 消費生活について	51
(1) 消費者トラブルにあった経験の有無	51
(2) 消費者トラブルにあった時相談できるところの有無	53
(2-1) 消費者トラブルを相談できるところ	55
(3) 消費者トラブルの相談窓口の整備状況	57
(4) 悪質商法は減ってきていると思うか	59
(5) 食の安全に対する不安感	61
(6) 危険な商品に関する情報の入手	63
(6-1) 危険な商品に関する情報の入手先	65
3 犯罪のない安全で安心なまちづくりについて	68
(1) 犯罪や防犯に関する情報の入手方法	68
(2) 犯罪情報等で提供してほしいもの	70
(3) 犯罪に遭わないために心がけていること	72
(4) 自主防犯活動等への参加状況	74
(5) 犯罪を防止するために行政（警察）に望むこと	76
4 社会全体での暴力団排除の推進について	79
(1) 「千葉県暴力団排除条例」の認知度	79
(1-1) 「千葉県暴力団排除条例」の規制等の認知度	81
(2) 暴力団排除の取り組みに参加する上で必要な支援	83
(3) 暴力団排除の取り組みで参加したいもの	85

<b>5</b>	<b>防災に関する取り組みについて</b>	<b>88</b>
	(1) 東日本大震災の発生当時いた場所	88
	(2) 東日本大震災の発生直後にとった行動	90
	(3) 東日本大震災に関する情報を最初に得たときの情報入手手段	92
	(4) 家族・友人等と最初に連絡が取れるまでに要した時間	94
	(4-1) 家族・友人等と最初に連絡を取ったとき利用した連絡方法	96
	(5) 今後の防災対策に対する要望	98
	(6) 東日本大震災を契機として今後取り組みたいこと	100
<b>6</b>	<b>障害者施策について</b>	<b>103</b>
	(1) 障害のある人との交流や手助けをした経験の有無	103
	(1-1) 障害のある人との交流や手助けをしたきっかけ	105
	(1-2) 障害のある人との交流や手助けの内容	107
	(1-3) 障害のある人との交流や手助けをしていない理由	109
	(2) 東日本大震災を契機とした今後の障害のある人との関わり方	111
	(3) 障害を理由とする差別や偏見に対する意識	113
	(4) 「障害のある人ない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」の 認知度	115
<b>7</b>	<b>環境保全に関する取り組みについて</b>	<b>118</b>
	(1) 環境保全のための活動の取り組み状況	118
	(2) 環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などの 参加経験	121
<b>8</b>	<b>青少年の健全育成について</b>	<b>124</b>
	(1) 青少年の健全育成のために現在最も必要だと思うこと	124
	(2) 社会生活を円滑に営むことが困難な子ども・若者に対して必要な支援	126
	(3) 青少年問題に関する県の相談窓口の案内のわかりやすさ	128
<b>9</b>	<b>道路整備について</b>	<b>131</b>
	(1) 県内の道路整備状況の満足度	131
	(2) 道路整備で優先的に取り組むべき課題	133
	(3) 社会実験期間中の東京湾アクアラインの利用状況	136
	(3-1) 東京湾アクアラインを利用する目的	138
	(3-2) 東京湾アクアラインを利用するときの目的地	140
	(3-3) 東京湾アクアラインを利用する理由	142
	(3-4) 東京湾アクアラインを利用しない理由	144
	(4) 東京湾アクアラインの料金の引き下げに期待する効果	146
<b>10</b>	<b>自由回答</b>	<b>149</b>
	(付) 調査票および単純集計結果	157